



校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

第1回指定校訪問 秋の公開研究会に向けて



沢山の先生方に囲まれて



〇〇先生も参加して



箕面市の先生方も参観

6月30日(金)の5校時、第1回指定校訪問があり、1Aで英語の研究授業を行いました。昨年に引き続き、今年度も10月27日(金)に文部科学省指定「英語教育強化地域拠点事業」公開研究会が予定されており、今回はその事前研究会として位置付けられたものです。

秋田大学教授〇〇〇〇〇先生、国際教養大学准教授〇〇〇〇〇先生、運営委員会の皆さん、教育庁高校教育課、中央教育事務所の先生方など沢山の指導者の先生方をお迎えしての研究会となりました。また、当日は大阪府箕面市教育委員会の「授業力向上」視察もあり、〇〇〇〇教育センター所長さんはじめ五名の皆さんが研究協議会にも参加されました。

授業はProgram 4「リサイクル活動 ～自分のことを話そう～」を取り上げて、国語の授業で行った「自分の好きなもの」というスピーチを英語に訳して発表し合い、より相手に伝わるようにするためにはどうしたらよいか、お互いにアドバイスを行うという活動を中心に進められました。

クラスを3つのグループに分け、〇〇教諭、〇〇教頭、〇〇〇〇〇先生がそれぞれのグループを担当しました。各グループの活動では、緊張して上手く話せないでいる人に声をかけたり、スピーチの内容に係わる英語での質問をサポートしたりと、互いに助け合いながら授業に取り組む姿が見られました。

スピーチを英語で紹介する際には、手に小さなメモをもってはいるものの、できるだけメモを見ないで英語で話そうという気持ちが伝わってきました。また、まだ教科書で習っていない文法や単語も駆使した英文もあり、聞く方にとってもかなり高度なものが求められるのですが、臆することなく積極的に活動する姿から、小中連携して取り組んできた大きな成果を伺うことができました。

何よりも、どの子どもたちも笑顔いっぱい学習に取り組む姿こそ、由利中の大きな財産であると感じた研修会でした。

箕面市教育委員会来校 由利の子どもにも感激！



箕面市の先生方も参観

箕面市から来られた教育委員会の5名の先生方は、予定では研究授業参観後、由利本荘市の教育施設の見学が予定されていたのですが、予定を変更して「研究協議会」の方にも参加されました。

協議会の最初にお一人ずつ感想を述べて頂きましたが、「子どもたちが自信をもって活動に取り組んでいた。」「『集団づくり』がよくできている。これは箕面で取り組んでいる『人権づくり』につながるものである。」「つまりいたり、困っている子どもがいると、子どもたち同士で周りで助けようとする姿勢が育っている。」「子どもや教師の様子から人間関係のよさが伝わってきた。」「英語で表現することに抵抗感を感じていないのは、信頼関係ができているからだと感じた。」とお褒めの言葉を頂きました。

翌7月1日（土）の西目小・中学校で開催された「新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト」実践フィールド校公開研究会でも、箕面市の先生方と一緒にになりました。その際、勿論西目小・中学校の取組についても大変感激しておられましたが、同様に「由利中や西目小・中の子どもの様子や先生方の指導を目の当たりにして、自分たちもしっかり頑張らなければならないと強く感じました。」とお話しされました。

箕面市と由利本荘市は教員だけでなく、生徒の交流も行っています。両市が互いによさを見付け合い、学び合うことで、さらなる指導力の向上を図っていきたいと思いました。

〇〇〇教育長が 「教育方針」を説明

先日、配付された広報「ゆりほんじょう」7月1日号の〇〇〇教育長の市議会での説明の中で、由利小・中学校について触れたところがありましたので、抜粋してご紹介します。

進取の気性を育む 学校教育の推進

初めに、学校教育については「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成」を目標に掲げ、市内約5570人の幼稚園児・児童生徒の「豊かな心と感性の醸成」、「確かな学力の形成」に努めてまいります。

特に本年度は、小・中学校においては、次期学習指導要領改訂を見据え、社会状況の変化に対応できる、次代を担う児童生徒の育成に向けた取組を充実します。中でも、「アクティブ・ラーニング」のフィールド校になっている西目小・西目中学校、英語教育拠点校の由利小・由利中学校の取組を全市に拡大することにより、主体的・能動的な力を付けさせるなど、新たな時代のニーズに応じた教育に努めたいと考えております。